

【樹木の部屋】

ギンバイカ（フトモモ科ギンバイカ属 *Myrtus communis*）

【和名】：ギンバイカ（銀梅花） 【別名】：ギンコウバイ、ギンコウボク、イワイノキ

【英名】：common myrtle

フトモモ目 落葉低木

【原産地】：地中海沿岸

【花言葉】：愛、愛のささやき

【花色】：白



←写真-1 ギンバイカ

撮影日：2016年5月26日

撮影場所：ニース(フランス)にて

撮影者：M さん



→ 写真-2 ギンバイカの花

撮影日：2016年5月26日

撮影場所：ニース(フランス)にて

撮影者：M さん

ニース(フランス)市内の公園を散策中に見かけました。

ギンバイカは、芳香があり、夏に多くの雄蕊が目立つ花で、枝先にかわいい梅に似た白い5弁の花を開花させる花木です。葉には油腺があり、葉を叩いたり揉むことでユーカリに似たフルーティーな強い芳香を放つことから、「マートル」の名前でハーブとしても流通しているそうです。秋に黒っぽく熟す果実も芳香と甘みがあり食べることができるそうです。

常緑で葉の密度も高く刈り込みにも耐えるため、生け垣やトピアリーの素材にも

適しているので、庭木としての利用価値も高い樹種ですが、寒冷地では防寒が必要だそうです。

主に流通している品種は、葉に白い覆輪がある斑入り品種のバリエガータ (*Myrtus communis* 'Variegata')、枝葉の細かいヒメギンバイカ (姫銀梅花 *Myrtus communis* subsp. *tarentina*) などだそうです。

また、ギンバイカは古代ギリシャを始め、ヨーロッパでは昔から神聖な樹とされ、「祝いの木」とも言われ、結婚式で使用されてきたそうです。